

こども用遺伝子検査キット

Dream Guide

DNA test for children

遺伝子レポート結果



運動

Sports

運動への積極性 中短距離疾走能力 中無酸素運動適合性 中有酸素運動適合性 高骨粗鬆症と骨折のリスク 低

食習慣

Eating habit

食欲 標準

肌

Skin

かぶれやすさ（刺激物感受性） 中

睡眠

Sleep

睡眠の質 標準睡眠不足と判断力 標準

その他

Other

ストレスの感じやすさ 標準

能力

Ability

記憶力 標準認知能力 標準言語能力 高数学的思考力 標準音楽的能力（音感・リズム感） 低情報処理能力【視覚（DS）】 標準試行錯誤学習（体験学習） 高

性格

Personality

開放性（BIG5） 中誠実性（BIG5） 中外向性（BIG5） 高協調性（BIG5） 中神経症傾向（BIG5） 弱社交性 中秘密を打ち明けることができる傾向 低

眼

Eye

近視 中

睡眠の質

Sleep quality

睡眠の質は、熟睡感や寝心地、目覚めの満足度だけでなく、起床後の生活にも影響を与えます。たとえば、疲労感、日中の眠気、集中力の低下などが含まれます。この検査では、睡眠の質に関する遺伝的傾向を調べています。

傾向

Tendency



高

標準

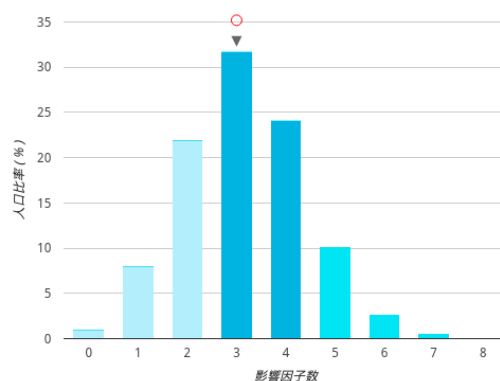
低

遺伝的に睡眠の質は標準レベルです。

影響因子数

Number of effect factor

影響因子数 (少): ■ あなたの数値: ○
 影響因子数 (中): ■ 日本人の平均: ▼
 影響因子数 (多): ■



睡眠の質に影響を与える10個の遺伝因子のうち、合計3個の影響因子が発見されました。日本人の平均影響因子の数は3個です。

関連コラム

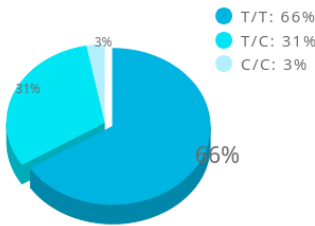
Column

十分な睡眠をとっているのに疲労感を感じたり、日中に眠気がある場合は、睡眠の質が低い可能性があります。睡眠の質を高めるためのポイントとして、まず起床後に日光を浴びることが重要です。日光を浴びることで体内時計がリセットされ、1日のリズムが整い、適切な時間に眠くなるように調整されます。また、睡眠の2~3時間前に入浴することも効果的です。入浴で一時的に体温が上がると、その後体温が下がり、眠りやすくなると言われています。ただし、寝る直前に入浴すると体温が高いままになるため、かえって寝つきが悪くなることもあるので注意が必要です。



遺伝子解析結果

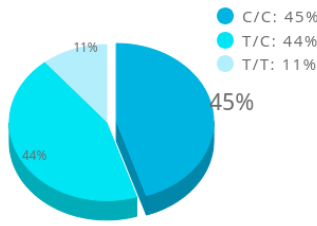
Genetic analysis results



SLC2A13

Scientific Strength ★

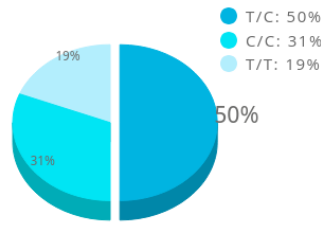
影響因子が発見されませんでした。日本人の66%がお子さまと同じ遺伝子型 (T/T) を持っています。



AC007686.1

Scientific Strength ★

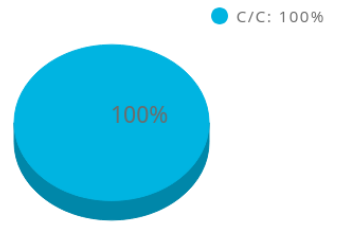
影響因子が2個発見されました。日本人の45%がお子さまと同じ遺伝子型 (C/C) を持っています。



CACNA1C

Scientific Strength ★

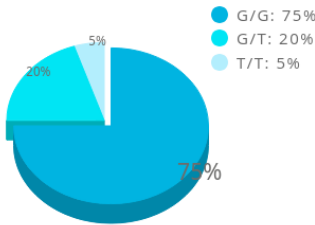
影響因子が1個発見されました。日本人の50%がお子さまと同じ遺伝子型 (T/C) を持っています。



UFL1-AS1

Scientific Strength ★★★

影響因子が発見されませんでした。日本人の100%がお子さまと同じ遺伝子型 (C/C) を持っています。



GPR139

Scientific Strength ★★★

影響因子が発見されませんでした。日本人の75%がお子さまと同じ遺伝子型 (G/G) を持っています。

Scientific Strength Rating Guide

本サービスの結果分析のために選択された遺伝子マーカー (SNP) とそれに伴う研究は、病気、栄養素、運動、皮膚など、様々な人間の健康状態及び体質に対する最新の遺伝子研究結果に基づき、研究結果は、ターゲット表現型 (Target phenotype) と関連性のある遺伝子マーカー (SNP) の位置を確認し、探索する研究方法であるゲノムワイド関連解析 (GWAS、Genome Wide Association Study) に基づいています。また、GWAS研究は白人民族(Caucasian ethnicity)に基づいている場合が多く、人種に関係なく私たち全員が同じ遺伝子を持っていますが、人種によって非白人(non-Caucasian)では異なる結果や意味を持つことがあり、これは遺伝的要因と非遺伝的要因がすべて作用すると見ることができます。本サービスでは、遺伝子マーカー(SNP)に関連する研究の信頼性を評価するために、独自に下記の評価方法を導入しました。評価方法は(株)KEAN Healthの独自基準であり、今後のサービス更新時に内容を変更する可能性があります。

- ★★★★ 約2,000人以上を対象とした大規模な研究から得られた結果であり、少なくとも1つの追加研究で同じ結果が示されています(replication study)。
- ★★★ 追試 (replication study) の有無にかかわらず、少なくとも500人を対象とした中規模の研究であり、GWAS研究の統計的有意性 ($p < 5 \times 10^{-8}$) 基準を通過した結果です。
- ★★ 500人未満の小規模な研究ですが、GWAS研究の統計的有意性 ($p < 5 \times 10^{-8}$) 基準を通過した結果です。
- ★ 研究対象者の規模に関係なく、統計的有意性($p < 0.05$)の基準を通過した結果です。

参考文献

- Nat Commun. 2019 Apr 5;10(1):1585.
- Sleep. 2021 Mar 12;44(3):zsaa211.
- Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 2013 Jul;162B(5):439-51.